

# 新評論

2019

11

No.298

発行所 © 新評論 2019年  
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28  
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832  
http://www.shinhyoron.co.jp  
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp  
振替 00160-1-113487 価格税抜



経済学の  
パラレルワールド

異端派経済学ここに結集!目からウロコの入門書が完成!第一級の  
執筆陣が社会人・学生・初学者に向けて平易に説く最良の手引き

## 経済学のパラレルワールド

入門・異端派総合アプローチ

全14章  
初級経済学・ゼミの  
テキストにも最適!

岡本哲史・小池洋一 編著

◆ジャンル:経済学/政治経済学/異端派理論/地域研究

本書は、経済学のちよつと変わった入門書です。なぜ変わっているかと言えば、通常、あまり学ぶことのない経済学の異端派学説ばかりを集めた入門書だからです。21世紀の今日、経済学の世界では、新古典派経済学という、効率や競争や均衡を重視するミクロ経済学系統の経済学が主流派として君臨しています。しかし、新古典派が主流派として君臨しているのは、それが唯一無二の正しい経済理論だからではありません。もっと生臭い、政治的な理由ゆえに主流派なのです。簡単に言うと、1990年代の社会主義体制の崩壊以後、資本主義こそが最も優れた経済制度であるとする「資本主義賛美論」が幅を利かすようになり、この過程で、自由放任型の市場競争がいかに効率的であるかを力説する新古典派経済学が、企業経営者や富裕層や保守政治家などの、いわゆる「上級国民様」のニーズに合致して寵愛を受けたため、大学界でそのような研究が増えたのです。他方、競争の「疲弊効果」や貧困や格差問題など、資本主義の暗黒面を指摘するような経済学説は疎んじられ、大学界から徐々に追放されてしまっています。それゆえ、過去30年の間に、大学における経済学教育は著しく画一化しました。1980年代までは、新古典派を含む近

代経済学と並行して、マルクス経済学や現代資本主義論や経済学史や経済史などを必修科目として学ぶスタイルが一般的でしたが、現在では、マクロ経済学にしても、ケインズの体系的な体系が半ば放棄され、ミクロ経済学の応用学問へと変貌し、経済学教育のほとんどが、主流派ミクロ経済学系統の数学的な科目によって占められるようになったのです。

しかし、経済学の世界には、実は、新古典派以外にもさまざまな異端派理論の系譜が存在しており、どの理論にも強い説得力と魅力があります。本書はそうした「大学で学ばない」異端派学説を集め、分かりやすく解説した書籍です。皆さんもぜひ一度、新古典派とは違う「経済学のパラレルワールド(並行世界)」を覗いてみてください。

(編者)

特別参加:内橋克人 佐野誠 執筆者(50音順)..  
飯塚倫子 佐々木憲介 塩沢由典 柴田徳太郎  
幅谷則子 L.C.ブレックセルIIペレイラ 森岡真史  
安原毅 矢野修一 山田鋭夫 山本純一

ISBN/978-4-7948-1140-0 11月上旬刊  
A5並製 予五二〇頁 予三五〇〇円

衰退のレギュラシオン

〔チリ経済の開発と衰退化1830-1914年〕  
岡本哲史 四七〇〇円

好評刊  
社会自由主義国家

〔ブラジルの「第三の道」〕  
小池洋一 二八〇〇円

編者 岡本哲史 九州産業大学経済学部教授。ラテンアメリカ経済論(チリ経済)、開発経済学、国際経済学専攻。主著「衰退のレギュラシオン」、共著「ラテンアメリカはどこへ行く」など。小池洋一 立命館大学経済学部教授を経て同大学社会システム研究所客員研究員。経済開発論、地域研究(ラテンアメリカ)専攻。主著「社会自由主義国家」、共編著「抵抗と創造のアマゾン」など。



ノーベル賞記念晩餐会の会場としても知られるストックホルム市庁舎内「青の間」

日本の国会議員の年収約2200万、かたやかの国では約750万！  
高橋源一郎氏らリベラルも注目する民主政治先進国のリアルな姿

# スウェーデンの 語られざる政治家の話

民主主義とは何かが分かる国(仮)

クラウディア・ワリン／アップルヤード和美 訳

◆ジャンル:スウェーデン政治・社会／民主主義論

スウェーデンが人口では日本のわずか10分の1でありながら、イノベーションに優れ、多くのユニコーン企業(評価額10億ドル以上で非上場のベンチャー企業)を生み出し、発信力があり、また1人当たりGDPでは日本をはるかに上回る豊かな福祉国家であることは皆の知るところだ。そんなスウェーデンの国会議員はいくら議員報酬を貰っていて、どんな生活をしているのだろうか。

北欧5か国の中でも最大のGDPを誇るスウェーデンだが、国会議員の報酬は北欧中最低だ。地方議会の議員に至ってはほとんどの議員が無報酬である。国会議員の宿舎は気の毒なほど質素で、通勤や移動には公共交通機関を使うのが普通だ。それはなぜか。

スウェーデンは「閣下」などという敬称を廃止、誰もがシンブルに「あなた」と呼ばれる平等社会である。政治家も同じで、庶民を代表する政治家は庶民感覚が分かる人でなければならない。権限のある人には説明責任があり、全ての情報は一般に公開されなければならない。スウェーデンの民主主義は、まさに政治権

力の透明性が鍵となっている。そして、それは世界最古の透明性を確保する法律(情報公開法)によって監視されている。この法律のおかげで、ジャーナリストがあらゆる情報にアクセスでき、国民も情報開示によって権力の監視ができる。ただもちろん、国民が政治に関心がなければ監視の意味もないが、高額な税金を払っているスウェーデンの国民はその使い途にも敏感だ。

民主主義の先進国と言われるスウェーデンの知られざる姿を鮮やかに描き出した本書を読むと、徹底した情報公開と国民の政治参加と監視が民主主義の根幹を担っていることがよくわかる。民主主義が揺れている今、それはどうすれば再び正常に機能するのか、本物の民主主義とは何かを考えさせてくれる1冊である。(アップルヤード・かずみ スウェーデン大使館政治経済担当官)

ISBN978-4-7948-1141-7 11月刊

四六並製 予三四〇頁 予三二〇〇円

好評刊 スウェーデンが見えてくる  
「ヨーロッパの中の日本」  
森元誠二 二四〇〇円

著者 Claudia WALLIN ブラジル人ジャーナリスト。2003年からスウェーデンを拠点に活動。ロンドンでTV Globoのヨーロッパ支局長、International Herald Tribune TVのディレクター、BBC World Serviceのプロデューサーを務め、現在も特約記者として寄稿している。



21世紀の公共図書館を体現化した「ブックヘブン」(オーディ図書館)

社会的平等とそれを支える強靱な文化保障制度を誇る北欧の小国。各地の公共図書館の事例からその秘密に迫る魅惑の図書館文化論

# フィンランド公共図書館

躍進の秘密(仮)

吉田右子・小泉公乃・坂田ヘントネン亜希

◆ジャンル:図書館学・図書館論/北欧の社会・文化

この一〇年間で、公共図書館を取り巻く状況は世界的に悪化していると言える。新自由主義の影響は国を問わず深刻なものとなり、公共サービスに関しても市場価値が最優先され、弱体の一途を辿っている。そんな状況のなか、公共図書館がとびきり元気な国がある。それがフィンランドである。世界一意欲的に使われているフィンランド公共図書館、その秘密はいったいどこにあるのだろうか。

確実に言えることは、フィンランド社会の目標である平等の達成に、公共図書館が直接結び付いているということである。公共図書館は、すべての住民に情報と文化へのアクセスを保障する公共機関である。フィンランドではすべての自治体に公共図書館があるため、情報と文化へのアクセスが文字通り一〇〇パーセント保障されている。また、公共図書館は切れ目のない生涯学習を約束する場所ともなっている。無料の公共図書館があることで、人は学びたいときに躊躇せずに学びを再開することができるのだ。このような背景もあって、フィンランド公共図書館は伝統に安住することなく、新たな挑戦を恐れずに前に進み続けている。世界大戦や大国との関係に翻弄され厳しい自然環境のなかで経済的に貧しかったフィンランドが、公共図書館をはじめ

とする強靱な文化保障制度を作り上げるまでには長い年月がかかっている。決して平坦ではない道のりがゆえに、培われた創造的な文化がフィンランドの公共図書館にも根付き、市民とともに革新的なサービスを追求し続けてきた。その結果、「情報と文化へのアクセスの保障による社会的平等の実現」、「切れ目のない生涯学習への約束」、「既成概念に捉われない革新的サービスの創造」が、フィンランド公共図書館の躍進の秘密となった。

映画「ニューヨーク公共図書館」(二〇一九年)で表現された公共図書館以上のものがフィンランドにはある。そのことを紙上で確認していただきたい。

(よしだ・ゆうこ)

ISBN978-4-7918-1139-4 11月上旬刊  
四六上製 予二七二頁 予二五〇〇円

読書を支えるスウェーデンの公共図書館

(文化・情報へのアクセスを保障する空間)  
小林ソール・デルマン・渡辺・吉田右子・和気尚美 二二〇〇円

文化を育むノルウェーの図書館

(物語・ことば・知識が踊る空間)  
マクヌセン・矢部直美・吉田右子・和気尚美 二八〇〇円

デンマークのにぎやかな公共図書館

(平等・共有・セルフヘルプを実現する場所)  
吉田右子 二四〇〇円

オランダ公共図書館の挑戦

(サービスを有料にするのはなぜか?)  
吉田右子 二五〇〇円

著者 吉田右子 筑波大学図書館情報メディア系教授。小泉公乃(こいずみ・まさのり) 筑波大学図書館情報メディア系助教。坂田ヘントネン亜希(さかた・ヘントネン・あき) エスポー市・エントレッセ図書館職員。



ブッククラブの実践の様子

「楽しくて、読むことが好きになり、刺激に満ち、大きな学びが得られ、人間関係の構築に寄与する」——いいことずくめの読書法を具体的に指南

## [改訂増補版] 読書がさら楽しくなる ブッククラブ

読書会より面白く、人とつながる学びの深さ

吉田新一郎

◆ジャンル:読書法・国語力・リテラシー教育・会社や社会の活性化

先日、ある知人から、「なぜ今、ブッククラブなんですか?」と聞かれました。それに対して、「類い稀なる学びの方法だから」と答えました。続いて、「読書会とブッククラブの違いは何ですか?」と聞かれたので、「楽しいか、楽しくないか」と答えました。集まった人たちが楽しめていれば「ブッククラブ」ということです。

欧米諸国では、ブッククラブを楽しむ文化が長年にわたって続いています。例えば、「ジェイン・オースティンの読書会 (The Jane Austen Book Club)」という本を読むか、同名の映画を観れば明らかでしょう。一方、日本では、大学で行われているゼミの「輪読会」や、社会人になつてからの勉強会などが行われていますが、「楽しい」という感覚が薄く、あくまでも勉強の手段と位置づけられているように思います。また、「ビブリオバトル」を含め、学校などで「読書会」と称されているものも、司会者(教師)のもとと多人数で行い、一斉授業の変形としか捉えられていないように見受けられます。ブッククラブは、①楽しく、②読むことが好きになり、③刺激があり、④大きな学びがあり、⑤人間関係を築くための

最高の機会ともなる活動です。このブッククラブを多面的に紹介し、広く日本社会で実践してもらうことが本書の目的です。すでに、日本においても、「飲み会」ならぬ「読み会」として毎週七、八名ほどの会社員が集まって行われているものや、学校の授業の一環として行われているものなどがあります。それらにおける「学び」の効果や「考える力」の向上、そして「楽しい」様子も、写真などを交えて紹介していきます。

また、今回の改訂増補版においては、初版を読んでブッククラブに取り組んだ人の実践例なども紹介しました。世代やジャンルを超えて行うブッククラブ、是非、あなたも!(よしだ・しんいちろう)

A5並製 二五二頁 予二二〇〇円  
ISBN978-4-7948-1137-0 11月刊

### 読書家の時間

〔自立した読み手を育てる考え方・学び方(実践編)〕  
プロジェクト・ワークショップ 編 二〇〇〇円

### リーディング・ワークショップ

〔読むことが好きになる教え方・学び方〕  
L・カルキンス/吉田新一郎・小坂敦子訳 二〇〇〇円

### 好評刊

増補版「読む力」はこうしてつける

吉田新一郎

二〇〇〇円

著者 プロジェクト・ワークショップの事務局として「作家の時間」「読書家の時間」およびそれらの算数・数学、理科、社会への応用・普及に努めている。単著「増補版「読む力」はこうしてつける」のほか、訳書「たった一つを変えるだけ」「最高の授業」など。

# 黄昏の夜明け

P・ツウィリオ 聞き手S・ロランジェ／土屋 謙訳

〔光速度社会の両義的現実と人類史の「今」〕速度の政治経済学を提唱し、世界的危機の本源を解明。

四六上製 二七二頁 二七〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1126-4



# 地球に降り立つ

B・ラトゥール／川村久美子訳・解題

〔新気候体制を生き抜くための政治〕パリ気候協定後の世界とトランプ現象の根幹をどう理解し、思考の共有を図るべきか。名著「虚構の

「近代」著者からのメッセージ！

ISBN978-4-7948-1132-5 近刊

四六上製 予二〇八頁 予二二〇〇円

著者 Bruno LATOUR (一九四七〜) フランスの科学人類学者。アクター・ネットワーク論者として著名。パリ政治学院の政治芸術プログラム・メディアラボ(SPEAK)名誉教授。ドイツのカーlsruhe工芸造形大学教授。

# スウェーデンにおける 野外保育のすべて

E・エングゴード／高見幸子・光橋 翠訳

〔森のムツレ教室〕を取り入れた保育実践〕子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ、野外教育の理論と実践。

四六並製 三〇八頁 二四〇〇円

近刊

ISBN978-4-7948-1136-3



# 良いスウェーデン、 悪いスウェーデン

P・ラパチオリ／鈴木賢志訳

〔ポスト真実の時代における国家ブランド戦争〕280字のつぶやきを武器とする戦争が始まった!?

四六並製 二五六頁 二二〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1130-1



# 新訂 フランク史一〇巻の歴史

トゥールのグレゴリウス／杉本正俊訳

草創期ヨーロッパ世界を知る上で不可欠の歴史書、読み物としての魅力を再現する定訳、待望の新訂版！

A5上製 六三三頁 六五〇〇円

近刊

ISBN978-4-7948-1134-9



# ソビエト・ミルク

N・イクステナ／黒沢 歩訳

〔ラトヴィア母娘の記憶〕ソ連体制下に生きて自由を求めた母娘の行く末は…。ラトヴィア文学の傑作！

四六並製 二八〇頁 二〇〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1133-2



# 100年前から見た 21世紀の日本

大倉幸宏

〔大正人からのメッセージ〕池上彰氏も絶賛、閉塞打開の鍵を歴史に探るシリーズ最新作。

四六並製 二六八頁 二〇〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1135-6



# メイド・イン・ツバメ

関 満博

〔金属製品の中小企業集積で世界に羽ばたく新潟県燕市〕114事業所訪問、複合金属基地の産業大全。

A5上製 六六四頁 八五〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1131-8



## オリヴィエ・ロワ／辻由美訳『ジハードと死』

## 敗者が英雄に変身できる幻想

■評者 出口治明(立命館アジア太平洋大学学長)

とても刺激的な論考だ。著者は20年余り前から欧州に拡大してきたテロリズムを、縦の系譜(コーランからウサーマ・ビンラーディンにいたるイスラームの暴力)ではなく、横の系譜(米国における銃乱射やカルト教団など)で説明しようと試みる。つまりテロリズムの根源にあるのは宗教ではないというのである。

のほとんどがイスラームの信仰とは無縁の生活を送っており、例えばパレスティナへの具体的な支援はしていない。ではなぜテロリストは、シリアに出現したダークイスラム(イスラーム国IIIS)にひかれるのか。それはダークイスラムが二つの空想の世界が交差するところに位置しているからだ。昔ながらの宗教的空想(カリフ制国家)と、イスラームとは無関係な過激でニヒルなある種の若者文化(犯罪映画「スカーフェイス」やコンバイン高校銃乱射事件を模した暴

「朝日新聞」2019年8月31日

力の美学、ヒロイズム)である。新たな反逆者の選択の基準は、敗者がスーパーヒーローに変身できる展望だ。新しい過激主義者は既存の社会に対する憎しみの点で、かつての革命家などより徹底しており、相手を選ばない大量殺人の中で自分の死を渴望している。こうした死の志願者たちが、主義主張などなくても自分たちの絶望に世界的重要性を与えるシナリオをダークイスラムからつかみ取っているのである。このように考えると、イスラームよりむしろテロリ

ズムと京アニ事件などの相似性に気づかされて慄然とする。

著者は、宗教的原理主義だけでは暴力は生み出されないと指摘する。実態を知るためには過激派に話をさせなければならぬ。だが今日、人は宗教のせいにして彼らの声を聞こうとせず、見知らぬ人のままでいるのを望んでいるのである、と警告している。

## ジハードと死

オリヴィエ・ロワ／辻由美訳

過激派の声に耳をすませ、20世紀末以降、欧米の若者たちを「死と暴力」に駆り立ててきたものの正体を剥出。

四六並製 一二四頁 一八〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1124-0



## 本を売る

## 忍者の折り紙

目当ての本を探すべく、インターネットにアクセスするも、検索ワードすらわからず、途方に暮れてしまったことはありませんか？ そんな時こそ書店にお越しください。私たち書店員が、なんとかしますから！

「運動の本なんだけど、わかるかしら。テレビで見たのよ」とある年配のご婦人。ヒントが少なければ少ないほど、書店員の血は騒ぐもの。とはいえ、健康ブームの昨今、棚はそんな本だらけ。さて、困った。いや待てよ、テレビで見たとおっしゃっていただけで、それなら放送日と番組名さえわかれば……。あ、そうですか、お忘れですか。ではどんな方が紹介されていましたか？ え、女性？ 女性の先生？ 体操をしていた？ なるほど、わかりました。菊池和子先生の「きくち体操」ですね、お客様！……と、まあこんなことは日常茶飯事なわけです。なかには、こんな強敵（お客様です）もいらっしやいます。「忍者

を折りたいのだけだ」と。これまた難問です。聞けば、お孫さんと一緒に、折り紙で忍者をつくりたいのだという。折り紙の関連本は結構充実していて、店頭在庫だけでも2000〜3000冊ほど。それを見たお客様、「これだけあるんだから、忍者の折り方くらい、どこかに載ってるんじゃない？」とおっしゃる。なぬ！ これ全部チェックせよ、というわけですね。わかりました！ わかりましたよ！ 片っぱしからめくりましても！！ 30分、いや1時間ほど経っただろうか。疲労困憊の私はお客様にこう申し上げるしかありませんでした。「お殿様」ならあるのですが……。ご所望の商品を手にすることはできなかったお客様ですが、「忍者はない」という事実をその目でご確認いただき、納得してお帰りのたぐいさうございました。それからというものの、私は新刊の折り紙本が出るたびに、「忍者」の項をついつい探してしまおうのです。あのお客様が、再び来店された時のために。

ジュンク堂書店吉祥寺店

山本寿子

本誌表示価格はすべて税抜です。

## ●書評 ●紹介 ●関連記事

## 書評日誌(7・28~9・15)

- 7・28 ⑧しんぶん赤旗「ジハードと死」  
7月号 ⑧月刊自治研「写真記録・三島由紀夫が書かなかった近江絹糸人権争議」(上林陽治)  
8・3 ⑧茨城新聞「オランダ公共図書館の挑戦」(野末たく二)  
8・18 ⑧毎日新聞「喜びへの希望」(木村凌二)

- 8・31 ⑧朝日新聞「ジハードと死」(出口治明) ▶P6再録  
9・14 ⑧⑧図書新聞「黙示のエチュード」(酒井隆史氏・著者対談、書評：仲田教人)  
9・15 ⑧朝日マリオン・コム「猫たちとニューヨーク散歩」(プレゼントコーナー)

## 黙示のエチュード

マニユエル・ヤン

〔歴史的想像力の再生のために〕 破滅の予感を生き抜く力に変える。歴史社会学の異才、待望の第一論集！ 四六上製 二九六頁 二八〇〇円



## 喜びへの希望

〈楽園の歴史〉Ⅲ

J・ドリモー／西澤文昭・永見文雄訳  
西洋文明を刺激し続けた「幸福天国」観の生成・解体・脱構築。心性史研究の金字塔三部作、堂々完結！  
A5上製 七二四頁 九〇〇〇円

〔毎日新聞〕書評

ISBN978-4-7948-1123-3



## 本を読む

オルグ！オルグ！オルグ！

面白かった。労働組合をつくるという感覚がなく、組織というのはそもそもギチギチに管理されたものだという先入観があったので、熱量におどろいた。U AゼンセンのHPでは、子どもをおぶって活動に参加したという女性の体験談を読むことができ、女性と組合についてのもっと知りたくなった。組合が身近ではない世代なので…新評論の本は、どれも面白くて世界が広がります。

(大阪市 大矢仁美 31歳)

アイコンとしてのチェ・ゲバラ

若い頃からチェに憧れていた。

それは彼が哲学者であり、偉大な革命家だったからだ。「聖像」としてのチェを描いた本書を手にして、写真や絵画に映し出された彼の「眼」に驚いた。「眼」が彼の思いを語っているのだ。著者が精魂込めて綴った本書は、チェのある一

面を見事に紹介したプロバガンダ本である。(神戸市 まちづくりプロデューサー 山本敬二)

梅根悟 その生涯とこと

新聞広告を見て、翌日さっそくジュンク堂書店に行きました。長年にわたり幼児教育に携わってきた身として、教育史には非常に心をもっています。若いころはコメニウス(近代教育学の祖、教育思想家)の研究者として梅根さんに注目していました。本書で50年ぶりにお会いした気持ちです。私が予想していた以上のお仕事をなさったことを知り、深い感銘を受けました。

(福岡市 村上百合子 84歳)

## 好評刊

オルグ！オルグ！オルグ！

(労働組合はいかにしてつくられたか) 本田一成 二八〇〇円

アイコンとしてのチェ・ゲバラ

(英雄的グリコ像と「チェポリーション」のゆくえ) 加藤 隆 三三〇〇円

梅根悟 (その生涯とこと)

中野光 三三〇〇円

## 編集部から

内需はしほみ格差が広がり続けるなか、世紀の愚策・消費増税Ⅱ法人減税がスタートしました。日本の経済政策とそれを理論的に下支えする主流派経済学が道を間違えたことは誰の目にも明らかです。もう「専門家」に任せてはおけない、自分で考えるしかない。反主流派の意見も聞いてみたいが、そもそも経済学は敷居が高い——そんな思いを抱くすべての人へ、新刊「経済学のバラレルワールド」をお届けします。主流に抗い続ける15名の精鋭が、主流派のおかしさと異端派の正しさを懇切に解説、思考の武器を伝授します▼この本が世に出るころ、私たちが最初に異端派の世界に誘ってくれた誠意の経済学者・佐野誠さんの七回忌が訪れます。本書には、経済学は「誰もが共生できる社会」のためになければならぬと説き続けた佐野さんの魂も宿っています。

## 営業部から

▼直近3ヶ月(2019年7月、9月)の弊社の書籍売上ベスト15をご紹介します。

- ① たった一つを変えるだけ
- ② ジハードと死
- ③ スウエーデンの  
小学校社会科の教科書を読む
- ④ ギヴァー 記憶を注ぐ者
- ⑤ 宿題をハックする
- ⑥ 教育のプロがすすめるインヘーション
- ⑦ 教科書では学べない数学的思考
- ⑧ 「学びの責任」は誰にあるのか
- ⑨ 最高の授業
- ⑩ 教育のプロがすすめる選択する学び
- ⑪ 良いスウエーデン、悪いスウエーデン
- ⑫ 野球母ちゃん
- ⑬ 成績をハックする
- ⑭ 虚構の「近代」
- ⑮ AO・推薦入試の黄本

## SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料！各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的にご送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにてお名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。